



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 山大
コード番号 7426 URL <http://www.yamadai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 暢介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 高橋 茂之

TEL 0225-93-1111

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,047	14.3	26		30		20	
2022年3月期第1四半期	917	12.4	4		0	87.9	18	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.90	
2022年3月期第1四半期	16.66	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,070	3,717	61.2
2022年3月期	6,244	3,729	59.7

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 3,717百万円 2022年3月期 3,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		30.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,592	19.1	156	59.2	162	51.4	134	81.1	120.62
通期	5,200	8.5	288	1.8	303	0.7	250	15.6	225.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,187,368 株	2022年3月期	1,187,368 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	76,529 株	2022年3月期	76,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,110,846 株	2022年3月期1Q	1,110,929 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が抑制される中、急激な円安による為替相場の変動、ウクライナ情勢による資源価格の高騰などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、新設住宅着工戸数も弱いながら堅調に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響、ウッドショック、原油等の資源価格の高騰等により、先行きに懸念が広がる状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法（脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律）が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、Community with wood～200年先の笑顔のために～、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及や、2019年1月に選出された「第7回富県宮城グランプリ」を糧に宮城県内産業の発展や地域経済の活性化に努力してまいりました。

建設事業では、宮城の伊達な杉を使用することで木の本来の性質であります優しい質感と香り、調湿効果に優れ、ある程度の太さがあれば火にも強く耐久性があり、「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「宮城の伊達な杉の家」CORE（コア）等と、選ばれた自然素材を採用し心身の健康を配慮した設計ノウハウと健康素材で、構成される住まいの提案と住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り年間に消費するエネルギー量が概ねゼロとなる、ZEH住宅等を拡販してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,047百万円（前年同期比14.3%増）となりました。営業利益は26百万円（前年同期営業損失4百万円）、経常利益は30百万円（前年同期経常利益0百万円）、四半期純利益は20百万円（前年同期四半期純損失18百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため、地場工務店等を中心とした営業活動に注力しました。ウッドショックの中、プレカット、宮城の伊達な杉の出荷が好調であったことにより、売上高889百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益85百万円（前年同期比63.3%増）となりました。

イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高147百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失15百万円（前年同期営業損失19百万円）となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高10百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益8百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、新型コロナウイルス感染症の状況や経営環境の変化により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,382,022	1,428,332
受取手形及び売掛金	860,435	701,008
完成工事未収入金等	98,107	21,636
商品及び製品	312,078	380,841
仕掛品	178,592	208,991
原材料及び貯蔵品	89,106	93,604
販売用土地建物	252,767	244,373
未成工事支出金	35,132	34,159
その他の流動資産	18,898	14,011
貸倒引当金	△3,956	△3,538
流動資産合計	3,223,184	3,123,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	754,247	733,121
機械装置及び運搬具 (純額)	134,305	122,543
土地	1,715,294	1,715,294
その他の有形固定資産 (純額)	269,759	265,729
有形固定資産合計	2,873,606	2,836,689
無形固定資産	17,864	15,697
投資その他の資産	129,638	94,936
固定資産合計	3,021,108	2,947,323
資産合計	6,244,293	6,070,743

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	815,213	736,843
工事未払金	33,281	35,812
短期借入金	195,000	195,000
1年内返済予定の長期借入金	149,596	149,596
未払法人税等	54,617	7,322
賞与引当金	10,300	19,400
完成工事補償引当金	6,790	5,770
その他の流動負債	176,747	168,299
流動負債合計	1,441,546	1,318,044
固定負債		
長期借入金	809,366	771,967
退職給付引当金	120,712	123,168
その他の固定負債	142,896	139,815
固定負債合計	1,072,974	1,034,950
負債合計	2,514,520	2,352,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	2,536,628	2,524,296
自己株式	△54,252	△54,312
株主資本合計	3,683,486	3,671,095
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△808	260
土地再評価差額金	47,094	46,394
評価・換算差額等合計	46,286	46,654
純資産合計	3,729,772	3,717,749
負債純資産合計	6,244,293	6,070,743

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	917,123	1,047,928
売上原価	769,015	858,384
売上総利益	148,108	189,543
販売費及び一般管理費	152,869	163,498
営業利益又は営業損失(△)	△4,760	26,045
営業外収益		
受取利息	76	3
受取配当金	1,327	1,285
受取助成金	1,671	1,428
仕入割引	1,686	1,451
その他	2,145	2,826
営業外収益合計	6,908	6,995
営業外費用		
支払利息	2,060	1,787
その他	21	309
営業外費用合計	2,082	2,096
経常利益	65	30,943
特別損失		
役員退職慰労金	19,500	-
特別損失合計	19,500	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,434	30,943
法人税、住民税及び事業税	954	4,646
法人税等調整額	△1,885	5,301
法人税等合計	△931	9,948
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,502	20,995

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。